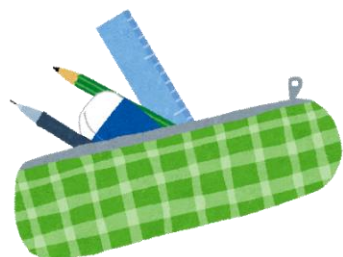
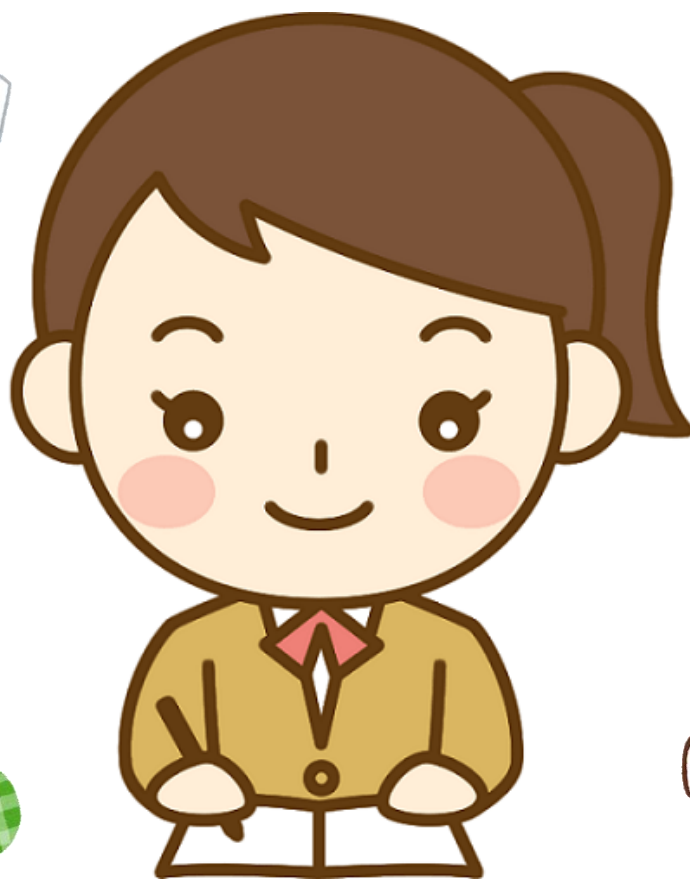
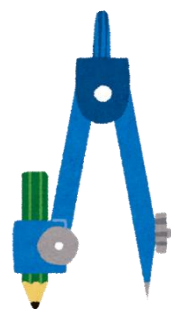


〈8年生〉

学習の手引き



令和7年度

八王子市立いずみの森義務教育学校



学習の手引き

学年 8 年生	教科 国語	担当 福島 英之
---------	-------	----------

(1)学習の目標

- ・相手の発言を注意して聞き、相手の工夫や良さを見つけて自分に取り入れることができる。
- ・授業の内容を自分の言葉でまとめ、時間内に文章にまとめて書くことができる。
- ・場面の状況や人物の描写を踏まえて、人物の心情の変化を捉えることができる。
- ・主題や筆者の考え方と根拠を把握して、的確に内容を捉えることができる。
- ・口語文法での活用する自立語、文語文法での活用する自立語の対訳、漢文訓読のきまりを理解することができる。
- ・一般社会でも通用する、場面に応じた言葉遣い、わかりやすい表現、相手に伝わる発表をできるようにする。

(2)学習内容

1 学期	2 学期	3 学期
○詩 ○文学的文章 ○説明的文章 ○文章作成 ○発表活動 ○口語文法 ○話し合い活動 ○書写	○文学的文章 ○説明的文章 ○古文・漢文 ○文章作成 ○発表活動 ○口語文法 ○話し合い活動 ○書写	○文学的文章 ○説明的文章 ○文章作成 ○発表活動 ○口語文法 ○話し合い活動 ○書写

(3)評価の観点及び方法

知識・技能	思考力・表現力・判断力	主体的に学習に取り組む態度
○漢字テスト(毎週) ○口語文法テスト(单元ごと) ○定期テスト ○書写	○読解テスト(单元ごと) ○発表テスト(毎月) ○発表・話し合い活動 ○授業まとめシート ○プリントでの課題 ○聞き取りテスト ○定期テスト	○事前学習(单元ごと) ○振り返りシート(单元ごと) ○課題の完成度 ○授業での姿勢・発言・挙手 ○提出物

(4)家庭学習方法

通常の学習方法	試験前の学習
○語句・意味を正しく調べてくる。 ○新出漢字の読み書きができるようにする。 ○本文を繰り返し音読する。 ○ワークやプリントでの課題を解いてくる。 ○授業で出される課題を仕上げてくる。	○新出漢字を含む言葉の読み書きができるようにする。 ○授業での重要点を、プリントを見て振り返る。 ○ワークやプリントの間違いを解き直す。 ○ワークやプリントの問題を解き、解説と照らし合わせる。 ○本文の内容・主題・概要を説明できるようにする。

(5)先生からのアドバイス

- ・提出物は、期限を守り、工夫をして、完成度を高めましょう。
- ・授業では主にプリントを使います。こちらで用意したファイルに順番で整えましょう。
- ・プリントは、板書だけでなく、メモを主体的に丁寧に記録しましょう。
- ・忘れ物をした場合は、できる限り借りてきた上で、授業が始まる前に必ず先生に伝えましょう。
- ・文字は丁寧に読みやすく書きましょう。テストで判断できない場合は、不正解となります。
- ・漢字の書き取りテストを週の最終回で1回行います。しっかり準備しましょう。
- ・発表テストを月の最初で1回行います。しっかり準備しましょう。
- ・テストの実施日に欠席した場合は、自分から先生に言いに来てください。個別に対応します。

学習の手引き

学年 8年	教科 社会	担当 富士縄 新(地理・歴史)
-------	-------	-----------------

(1) 学習の目標

【地理的分野】・日本の自然環境や人口、産業などの特色を捉える。

・日本の諸地域に関して、地形や気候、産業や人口などそれぞれの特色について理解する。

・身近な地域を調べる方法を知り、自分のテーマをもとに調査した内容をまとめ発表する。

【歴史的分野】・近世から近代までの歴史の流れや人物、出来事とその関連を捉える。

・様々な資料を読み取り、当時の生活や時代の変化などを理解し、まとめるとともに自分の考えを述べる。

(2) 学習内容

1 学期	2 学期	3 学期
【地理的分野】 ○日本のさまざまな地域 ・日本の地域的特色 ・日本の諸地域 ・身近な地域の調査 【歴史的分野】 ○歴史の大きな流れと移り変わり ・近世	【地理的分野】 ○日本のさまざまな地域 ・日本の諸地域 【歴史的分野】 ○歴史の大きな流れと移り変わり ・近世	【地理的分野】 ○日本のさまざまな地域 ・日本の諸地域 【歴史的分野】 ○歴史の大きな流れと移り変わり ・近代

(3) 評価の方法

知識・技能	思考力・表現力・判断力	主体的に学習に取り組む態度
○定期テスト ○小テスト ○単元ワークシート ○カラープリント	○定期テスト ○ワークシート、発表 ○調べ学習のまとめ	○予習プリント ○ファイル ○定期テストの直し ○カラープリント

(4) 家庭学習方法

通常の学習方法	試験前の学習
○授業のあった日に、その日の内容を振り返る ・教科書を読み(2ページ分)、ファイルを見返す ・授業プリントの問題の振り返りをする。 ○定期的に配られるカラープリントを解く ○授業の前日までに予習の問題に取り組む	○ファイルなどで授業内容を振り返る ○カラープリントやテスト対策プリントを解く(間違えた問題やできなかった問題は解き直す) ○時間的な余裕があれば、自作のまとめノートなどを作成する

(5) 先生からのアドバイス

・8年生になると、学習内容これまでよりも多く、深いものになり、地理的な位置や歴史における時代の流れなど、複雑な内容をつかいます。まとめは授業内で完成させます。授業があった日にファイルを見返し、その日のうちに授業内容を定着させるようにしましょう。

学習の手引き

学年	8学年	教科	数学	担当 高橋(直)・高橋(和)・宮内・唐亀・岩崎 (学期によって担当者が変わります)
----	-----	----	----	--

(1) 学習の目標

- ・式の計算、連立方程式の計算を定着させる。
- ・1次関数として捉えられる2つの数量について、変化や対応の特徴を見だし、表、式、グラフを相互に関連付けて考察し表現することができる。
- ・図形の定義・定理に基づいて、理論立てて説明・証明することができる。
- ・具体的な場面における確率を求めることができる。

(2) 学習内容

1学期	2学期	3学期
○式の計算 ○連立方程式 ○1次関数	○1次関数 ○図形の調べ方 ○図形の性質と証明	○図形の性質と証明 ○場合の数と確率 ○箱ひげ図とデータの活用

(3) 評価の観点及び方法

知識・技能	思考力・表現力・判断力	主体的に学習に取り組む態度
定期テスト 単元テスト 小テスト 休み明けテスト等	定期テスト 単元テスト 小テスト 休み明けテスト等	章末プリント 章の振り返り 授業観察 提出物(ワーク・ファイル)等

(4) 家庭学習方法

通常の学習方法	試験前の学習
◎授業で扱った問題で、解けなかったものについて復習をする。 ・答えではなく、考え方、計算方法が身につくように復習する。 ◎問題集などの宿題に取り組む。 ◎同じ問題でも構わないので、何度も繰り返し学習し、計算スピードを身につける。	・授業内容を振り返る。 ・問題集に取り組む。 ・間違えた問題を、何度も解き直す。 ・難しい問題に挑戦する。

(5) 先生からのアドバイス

8年生の数学は、7年生で学習してきた内容が基になっています。そのため、わからないときには7年生やそれ以前の内容の復習を行いましょう。また、2学期に学習予定の1次関数や図形の証明はつまづくことが増えてますが、授業をしっかりと受け、こまめに復習を行うことで理解していきましょう。

数学では、初めから解ける問題はほとんどありません。間違えたときに解説をじっくりと読み、「なぜ解けなかったのか」「どこで間違えたのか」をはっきりとさせ、復習を行い、解き方を覚えていくことで、次は解けるようになります。数学は間違えながら、コツコツと努力することで身につく教科です。間違えながら学んでいきましょう。

学習の手引き

学年	8年生	教科	理科	担当	小澤・井戸
----	-----	----	----	----	-------

(1) 学習の目標

- ・ 自然の事物・現象の中に問題を見いだす。(⇒不思議だなと感じることや、どうしてだろうと疑問をもつことが大切。)
- ・ 見通しをもって観察、実験などを行う。(⇒何のために観察や実験を行うのか、目的をしっかりと理解して取り組もう。)
- ・ 得られた結果を分析して解釈する。(⇒観察や実験からどんなことが分かるのか、自分の頭でしっかりと考えよう。)
- ・ 単元ごとに振り返りを行い、次の学びにつなげる。

このような学習活動を通して、後期課程での3年間で、「問題を科学的に探究する力」を育ててほしいと考えています。

そのために、8年生では、特に【**解決する方法を立案し、その結果を分析して解釈すること**】に力を入れていきます。

(2) 学習内容

I 学期	2学期	3学期
○生物の体のつくりとはたらき ○化学変化と原子・分子	○化学変化と原子・分子 ○生物の体のつくりとはたらき ○電流とその利用	○地球の大気と天気の変化

(3) 評価の観点及び方法

I 知識・技能	II 思考・判断・表現	III 主体的に学習に取り組む態度
・定期テスト・小テスト 等 ・実験のパフォーマンステスト※ ・実験への取り組み※ (※基本的な操作が習得できているか) ・ワークシート・レポート(基本的な技能)	・定期テスト・小テスト 等 ・ワークシート・レポート (①考察の記述内容 ②表やグラフや図を使ってわかりやすくまとめられているか) ・授業中の発言	・自主レポート・ノート (口頭での論説含む ◎+α ◎継続) ・振り返りシート (◎知識技能の活用 ◎対話を通した気づき ◎課題解決への試行錯誤) ・イメージマップ (単元の内容に関して ◎自己の成長や変容を表現 ◎用語の量・内容・関係) ・実験に主体的に取り組む姿勢

(4) 家庭学習方法

通常の学習方法	試験前の学習
○授業で習ったことは、その日のうちに理解すること。 解らないことは、次の授業までに解決しよう。毎日の積み重ねが大事です!! ○気になったこと、疑問に思ったことは、どんどん調べてみましょう。授業以外の時間で、主体的に粘り強く学習に取り組むことにより、問題を科学的に探究する力を大きく育てることができます。	○試験は、主に授業で学習したことから出題します。 まずは、教科書、ノート、授業で使用したプリントを見直しましょう。 ○見直しが終わったら、問題集や、プリントを何度も解いてみましょう。初めに解くときには、間違えた問題にしるしをつけましょう。2回目・3回目と、間違えた問題にくりかえし取り組むと弱点が克服できます。

(5) 先生からのアドバイス

8年生の理科では肉眼で見ることができないような現象を多く扱います。教科書にのっている図やモデルを参考にしてイメージを膨らませてください。また、実験では「結果」だけでなくそこから何を「考察」することができるかが重要です。自分の理解しやすい方法でまとめましょう。実験や観察がたくさんありますので、楽しく学習して理科を好きになってください。

学習の手引き

学年 8年	教科 英語	担当 林 井上 小川 長岡
-------	-------	---------------

(1) 学習の目標

【聞くこと】説明や日常の会話、身近な事柄についての簡単なニュースなどを聞いて必要な情報や内容を聞き取ることができる。

【読むこと】コラムや短い物語を読んで、大まかな内容を読み取ることができる。インタビュー記事などを読んで、意見のポイントなどを読み取ることができる。

【話すこと（やりとり）】自分の思いや考えを即興で話すことができる。身近な話題や社会的な話題について内容を踏まえて話し合いができる。

【話すこと（発表）】関心のある事柄について即興で話すことができる。日常的な話題や社会的な話題について自分の考えや気持ちなどを話すことができる。

【書くこと】事実や自分の考えを整理してエッセイやポスターを書くことができる。読んだ英文をふまえて、自分の考えや理由を書くことができる。

(2) 学習内容

1 学期	2 学期	3 学期
Lesson1 Lesson2 Lesson3 Project1 / Reading Lesson1	Lesson4 Lesson5 Lesson6 Project2 / Reading Lesson2	Lesson7 Lesson8 Project3 Reading Lesson3

(3) 評価の観点及び方法

知識・技能	思考力・表現力・判断力	主体的に学習に取り組む態度
・定期テスト ・小テスト(単語テスト・単元別テスト) ・休み明けテスト ・パフォーマンステスト (スピーチ、プレゼンテーション、ディスカッション)	・定期テスト ・小テスト(リスニングテスト) ・パフォーマンステスト (スピーチ、プレゼンテーション、ディスカッション)	・振り返りシート ・課題への取組 ・授業中の取組 ・パフォーマンステスト (スピーチ、プレゼンテーション、ディスカッション)

(4) 家庭学習方法

通常の学習方法	試験前の学習
○復習を大切にしよう。 ・学習した単語や表現を繰り返し書く、発音する。 ・ノートに何回も声を出して読みながら英文を書く。 ・教科書を繰り返し音読する。イントネーションやリンキングを意識する。 ・学習した表現を使って、自分の思いを書いてみる。 ・分からないことは必ず質問し、疑問を解消する。	○ワークなどで間違えた問題の見直しを行う。(2往復) ○重要表現の日本語を英語で書けるようにしておく。 ○長文を読む練習をしておく。 ○自分が伝えたいことを簡単な英語で表現できるようにしておく。 ○ラジオ講座や YouTubeなどを視聴し、自然な速さの英文に慣れる。

(5) 先生からのアドバイス

7年生では自分のことや身近なことについて伝える表現を学習してきました。そこで学習したことをもとに、8年生では社会的なことについても自分で考え、やりとりができるようにしていきます。伝えたいことが相手にきちんと伝わるように、文法や単語の知識を身に付けていきましょう。また順序や会話の流れを意識して話したり書いたりできるようにしましょう。

学習の手引き

学年	8 年生	教科	音楽科	担当	木下知美
----	------	----	-----	----	------

(1) 学習の目標

- ・音楽活動の楽しさを体験し、生涯にわたって音楽に親しんでいく態度を育てる。
- ・多様な音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、表現の技能を伸ばす。
- ・多様な音楽に対する理解を深め、幅広く主体的に鑑賞する能力を高める。

(2) 学習内容

Ⅰ 学期	2 学期	3 学期
○歌唱「夢の世界を」「翼をください」 「課題曲」 ○鑑賞「フーガ短調」 ○指揮 ○楽典・リズム	○歌唱「課題曲」「自由曲」「夏の思い出」 ○鑑賞「交響曲第5番ハ短調」 ○器楽「箏」 ○楽典・リズム	○歌唱「卒業式の歌」 ○鑑賞「アイーダ」「郷土の祭りや芸能」 ○楽典・リズム

(3) 評価の観点及び方法

Ⅰ 知識・技能	Ⅱ 思考・判断・表現	Ⅲ 主体的に学習に取り組む態度
・ワークやプリント ・実技テスト(歌唱・指揮等) ・定期テスト ・小テスト	・ワークやプリント ・実技テスト(歌唱・指揮等) ・定期テスト ・小テスト	・振り返りカード ・授業プリント ・提出物 ・授業態度 ・実技テスト態度

(4) 家庭学習方法

通常の学習方法	試験前の学習
実技教科は週 1 回しかないので、毎回の授業を大切に積極的に受けてください。分からないことを、すぐに聞くことも大切です。	授業で学習した内容を思い出し、教科書、ワーク、プリントを中心に復習してください。

(5) 先生からのアドバイス

毎回の授業を大切に受けてください。実技教科なので、身体で表現をすること、自分の言葉(文字や発言)で表現することが大切です。音楽の授業で身に付けるべき基本は7年生にあり、その後3年間繰り返し出てきます。7年生で学習したことをもう一度復習しておきましょう。歌うこと、音楽を聴くこと、仲間とともに学ぶことが楽しくなるような雰囲気を作りながら、一緒に授業を進めていきましょう。

学習の手引き

学年	8年	教科	美術	担当	隆藤 さえ子
----	----	----	----	----	--------

(1) 学習の目標

- ①ものごとを捉える造形的な視点について理解する。
- ②意図に応じて表現方法を追求し、創造的に表すことができるようにする。
- ③自然や美術作品などの良さや美しさ、表現の意図や工夫、機能美を感じる。
- ④美術の働きについて独創性・総合的に考え、主題を生み出し、豊かに発想し、構想を練る。
- ⑤主体的に活動に取り組み、心豊かな生活を想像していく態度を養う。

(2) 学習内容

Ⅰ 学期	2 学期	3 学期
○鑑賞「レオナルドダビンチ、ミケランジェロ、ラファエロ」 ○一点透視図法で描く、理想の家	○鑑賞「浮世絵と葛飾北斎」 ○木版画	○篆刻

(3) 評価の観点及び方法

Ⅰ 知識・技能	Ⅱ 思考・判断・表現	Ⅲ 主体的に取り組む態度
対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。表現方法を創意工夫し、創造的に表している。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	美術の創造活動の喜びを味わい主体的に表現及び鑑賞の幅広い学習活動に取り組もうとしている。
定期テストの筆記問題、作品提出状況（時間内に完成を原則とする）、作品の途中経過、完成作品	下描き用紙（アイデア）、発想用ワークシート、定期テストの実技問題、美術史ワークシート、プレゼンシート、鑑賞シートの内容	授業観察、発想用ワークシート、美術史ワークシート、 <u>振り返りシート</u>

(4) 家庭学習方法

通常の学習方法	テスト前の学習
○発想の手助けとなるような資料（本や写真、イラストの手本など）を準備する。 ○思いついたアイデアがあれば、スケッチやメモなどをしておいて、それを授業に持ち込む。また、授業以外の時間でも発想や構想を練っておくとスムーズに制作できる。 ○作品の制作意図や、他者の作品を見て思ったことを具体的に説明する。	○筆記問題については、テスト範囲の内容を繰り返しノートに書き写すなどして覚える。（技法や美術史、作家に関する内容が多い。） ○記述問題も出題するので、日ごろから自分の考えを文章にまとめる練習をしておく。

(5) 先生からのアドバイス

- 日ごろから身の周りを見て「きれいだな」「素敵だな」「かっこいいな」と、感動する気持ちを大切にしてください。良いものを見て感動したら、メモやスケッチ、画像などを残しておくことで授業にも生かせます。
- 発想や構想を練る段階で、時間がかかってしまう生徒が多いです。授業時間内に発想や構想の段階で止まってしまうと、その先が進まなくなってしまう、下描きを描いたり色を塗ったりする時間が無くなってしまう。制作の時間配分と、事前準備が重要です。自宅でもアイデアを練るなど授業以外の時間を積極的に活用しましょう。
- 主として学校で制作した状況を評価していきます。制作に遅れが出た場合、原則として、決められた場所と時間に居残りをして遅れを取り戻します。
- 既存のアイデアを参考にするのはかまいませんが、必ず自分なりの工夫を加えましょう。あなたにしかできない作品を期待しています！

学習の手引き

学年	8年生	教科	保健体育	担当	吉川 昌則
----	-----	----	------	----	-------

(1) 学習の目標

- (ア) 各種の運動の特性に応じた技能等及び個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。
- (イ) 運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- (ウ) 生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。

(2) 学習内容

1学期	2学期	3学期
○陸上競技(短距離走、リレー) ○体づくり運動 ○器械運動 ○球技 ○保健 傷害の防止	○水泳 ○球技 ○体育理論 運動やスポーツの意義や効果と学び 方や安全な行い方	○柔道 ○ダンス ○陸上(長距離走) ○保健 健康な生活と疾病の予防

(3) 評価の観点及び方法

知識・技能	思考・表現・判断	主体的に学習に取り組む態度
・定期テスト ・実技テスト ・試合などでの動き・チームへの貢献 度など	・定期テスト ・学習カード、保健のプリントの記述 内容	・授業時の観察 ・学習カード・保健のプリント等にお ける記述

(4) 家庭学習方法

通常の学習方法	試験前の学習
毎回の授業を大切にしてください。 自分の体力や技能を高めていきましょう。 「知識・技能をどれだけ身に付けたか(習得)」だけでなく、「学習した知識・技能をどのように生かしているか」「自らの考えて、いかに活動の仕方を工夫しているか」「自らの考えて、いかに活動の仕方を工夫しているかなど主体的・意欲的な態度を養っていきましょう。	【定期テスト】 実技の学習カード・保健のプリント、教科書、 図解中学体育を使って学習してください。 授業で説明した内容、学習カードの内容をよく確認してお きましょう。 【実技試験】 実技試験前にポイントを説明します。その説明を聞き、授 業で練習等する時間があります。

(5) 先生からのアドバイス

- ・各運動種目の特性を理解し、目標をもって運動に取り組みましょう。
- ・自ら進んで学習し、運動の喜びや楽しさを体感しましょう。
- ・仲間と協力し励まし合い、互いに認め合いながら運動に取り組みましょう。
- ・見学の場合は、決められた手順をとり、見学態度を考えて見学しましょう。
- ・試験(実技、記録測定、定期テストなど)を頑張りましょう。普段から授業を大切にしましょう。
- ・得意・不得意な種目、いろいろありますが運動を楽しく取り組めるように協力していきましょう。

第 8 学年

学習の手引き

学年	8年生	教科	技術科	担当	伊達裕二
----	-----	----	-----	----	------

(1) 学習の目標

- ・生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付ける。
- ・生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力を養う。
- ・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

(2) 学習内容

1 学期	2 学期	3 学期
○生物育成の技術(水耕栽培) ○エネルギー変換の技術 (動くオルゴール製作)	○エネルギー変換の技術 (動くオルゴール製作)	○エネルギー変換の技術 (ポケットライト製作)

(3) 評価の観点及び材料

項目	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
観 点	・基本的な知識を身に付け、生活と技術とのかかわりについて理解している。 ・生活に必要な基礎的・基本的な技術を身に付けている。	・生活について見直し、課題を見付け、その解決を目指して自分なりに工夫し創造している。	・生活や技術について関心をもち、生活を充実向上するために進んで(試行錯誤でいねいに粘り強く)実践しようとする。
材 料	・定期考査 ・実技	・実技 ・課題	・提出物の内容 ・作業の様子

(4) 家庭学習方法

通常の学習方法	試験前の学習
・授業中はメモを取る(提出)。 ・材料、エネルギー、生物育成、情報などに関心をもつ。 ・作ってみる、修理してみる。	・授業内容の復習。 ・授業プリント、教科書を理解する。

(5) 先生からのアドバイス

- ・社会で起きているいろいろな問題に興味をもちましょう。
- ・自分で考えて作ってみたり、簡単に捨てずに修理してみたりしよう。

学習の手引き

学年 8学年	教科 家庭	担当 梶木美穂
--------	-------	---------

(1) 学習の目標

- ・自分の衣生活を振り返り、快適な衣生活を送るための課題を見つけ、解決方法を考える。
- ・健康で豊かな衣生活を送るために、必要な知識や技術を身に付ける。
- ・住まいの役割を知り、生命と生活を守る住まいについて考える。
- ・自分の住まい方を振り返り、快適に住むための工夫を考える。

(2) 学習内容

I 学期	2学期	3学期
・ガイダンス（授業内容と受け方、スポーツパンツ採寸） ・衣服の働き ・目的に応じた着用 ・衣服の構成 ・ミシンの使い方 ・衣生活に関する情報について（取り扱い表示等）	・ミシンの使い方 ・衣服製作（スポーツパンツ） ・衣服の手入れ	・糸や布の成り立ち ・繊維の種類と利用法 ・既製服について ・ミシン操作確認のための衣服実習（ペンケース） ・安全で快適な住生活

(3) 評価の観点及び方法

項目	I 知識・技能	II 思考・判断・表現	III 主体的に学習に取り組む態度
観 点	・定期テスト ・授業プリントやワークノートの記録 ・作品制作の技能 ・ミシン操作 ・衣服の補修技能 ・衣服の手入れの技能	・定期テスト ・作品制作 ・観察・記録 ・衣生活に関する情報収集	・授業プリントやワークノートの提出状況 ・課題提出状況 ・作品制作の進捗状況と振り返り ・ミシン操作の状況

(4) 家庭学習方法

通常の学習方法	試験前の学習
・指示された作業や課題に取り組む。 ・日常の衣生活に関する作業に関わるように行動する。 ・衣生活に関する情報を得るように、ニュースや新聞、広告などを見る。	・教科書や授業プリント、ワークノートの内容を見直し、重要な部分を確認する。 ・作品制作の技能を説明文と実際の作業を関連させて理解する。

(5) 先生からのアドバイス

- ・衣服の管理や手入れなどの衣生活に関わる作業を時々やってください。清潔で気持ちの良い衣服を身に着けるための作業ができるようになることで、自立した生活に近づいていきます。
- ・衣服製作も頑張ってください。考えながら手を動かすことで、脳の活用につながります。根気よく作業することからも、可能性が広がっていきます。一緒に作業していきましょう。